



## トリノ五輪・フィギュア男子 高橋大輔さんが健闘、8位入賞

トリノオリンピックに、体育会アイススケート部所属の高橋大輔さん(文学部2年次生)が出場。フィギュアスケート男子で日本人初のメダルを目指しましたが、惜しくも8位に——。高橋さんの健闘をたたえるとともに、めきめき実をつけてきた関西大学アイススケート部員のトリノ五輪に至る活躍を振り返ってみました。

日本時間で2月15日未明。初の五輪のショートプログラムで、滑走順が何と1番。緊張のあまり「足がガクガクして、自分のペースに持って行けなかった」と言いながら5位となり、フリーの成績次第でメダル圏内。比較的得点が出にくい一番滑走で、表現面などを見るプログラム構成点5項目中4項目で高得点の目安となる7点台が並びました。

2日後の17日、フリーでは24人中24番目の最終滑走。勝負を懸けた最初の4回転ジャンプで転倒し、本来の調子を取り戻すことができませんでした。高橋さんの初の五輪は、204.89点で8位に。「また一からやりたい。次の五輪には(織田選手と)2人でいきたい」と、この経験と悔しさをバネに、先を見据えた頼もしい決意が聞かれました。

### トリノ五輪に至る輝かしい戦績

- ◆NHK杯：2005年12月4日  
グランプリ(GP)シリーズ第6戦NHK杯で、織田信成さん(文学部1年次生)が優勝。3回転、2回転、2回転と、3連続ジャンプを力強く決めました。高橋大輔さんは第3位。
- ◆GPファイナル：12月17日  
高橋大輔さんが第3位となり、日本人男子で初めてGPファイナルでメダルを獲得しました。織田信成さんは4位。
- ◆全日本選手権：12月24日  
トリノ五輪の代表最終選考会を兼ねた試合で、ショートプログラム2位の高橋大輔さんが、採点集計ミスというハプニングがあったものの織田信成さんを逆転で破り、五輪代表の座を確実にしました。



トリノ五輪に出場した高橋大輔さん=毎日新聞社提供



### 高橋・織田両選手の「壮行会」

トリノ五輪代表の高橋大輔さんと四大選選手権・世界選手権代表の織田信成さんの壮行会が1月11日、BIGホール100(第2学舎4号館内)で開かれました。阪神タイガースに入団が決まった岩田稔さん(経済学部4年次生)も駆けつけ、学生、教職員約1000人が参加して壮行ムードを盛り上げました。

### 延べ500人が一体となって、応援

「トリノオリンピック・高橋大輔君を応援する会」が、2月15日、17日の両日、総合学生会館「メディアパーク凜風館」で開かれました。競技開始が午前3時(15日)、午前7時(17日)という時間にもかかわらず織田信成さんら体育会アイススケート部の部員をはじめ、学生や教職員など延べ500人が参加。メガホンなどの応援グッズを手に、「高橋コール」の大合唱とともに、トリノに向けて大声援を送りました。メダル獲得はならなかったものの、高橋さんの最後まであきらめない姿に惜しめない拍手が送られました。

## フィギュア四大陸選手権 織田信成さんが優勝、 世界選手権に弾み

フィギュアスケートの四大陸選手権が1月27日、米コロラド州コロラドスプリングスで行われ、織田信成さんが201.69点で初出場初優勝を果たしました。冒頭のトリブルアクセル(3回転半ジャンプ)でフェンスにぶつかるアクシデントがありましたが、気力で持ち直し、3連続ジャンプなどで巻き返して、見事に優勝を決めました。3月20日からカナダで行われる世界選手権での活躍が大いに期待されます。